

## 令和3年度授業力ブラッシュアップ研修会（中学校・道徳）

今年度の授業力ブラッシュアップ研修会は、授業改善の視点として示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業はどうあればよいかをテーマに提案授業及び講義を行いました。今号では、中学校道徳の研修内容について紹介します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業映像は配布資料とし、國學院大学・澤田 浩一 教授の講義をオンライン研修として実施しました。

### 【テーマ】

### 道徳的問題を主体的に捉え、対話を通して人間としての生き方についての考えを深める学習の在り方

#### プロジェクトチーム

- 一関市立大原中学校 小山 淳 教諭
- 一関市立一関東中学校 千葉 志緒里 教諭
- 一関市立舞川中学校 山初 千恵美 教諭

#### 授業の概要

- 主題名** 法やきまりの意義【C 遵法精神、公德心】
- 教材名** 『二通の手紙』（日本文教出版「中学道徳 あすを生きる3」）
- ねらい** 法やきまりは人々の幸福を守るためにあることを理解し、それらを主体的に守ることによって、規律ある安定した社会の実現に努めようとする態度を育てる。
- 授業者** 一関市立大原中学校 小山 淳 教諭（3年A組 17名）

#### 【視点1】道徳的問題を自分のこととして考えるための導入の工夫

1・2年時の授業で「法やきまり」について考えたことを、ICT機器を活用して振り返りました。「相手の気持ちを考え、よいかだめか判断する」といった感想が多く見られたことを共有したうえで、本時では、また違った視点から法やきまりを守る大切さについて考えていくことを確認し、課題意識をもたせました。



#### 【視点2】道徳的価値を多面的・多角的に考えるための対話のさせ方の工夫

「法やきまりの意義」の実感的な理解につながる対話を目指しました。元さんの置かれた状況に共感して人間理解を深め、佐々木さんの考え方の変容にも触れたうえで、「佐々木さんの思いを支えているものは何か」と中心発問を設定しました。この際、ロイロノートを活用することで、仲間同士で意見を素早く共有し、自分と似た考えや違った考えに触れながら、多面的・多角的に考えることができました。

決まりを優先することでお客さんに安全に楽しく動物を見せることができるから。

元さんが言った言葉から考えさせられて、その言葉に支えられていると思う

決まりを守らないと、事故を招くこともあるし、決まりを守って来てくれているお客さんにも失礼になると思ったから

元さんの件でももしも子供たちに何かあったらと考えるもう一つの優しさ

【視点2】ロイロノートを使った生徒の記述から

#### 【視点3】人間としての生き方についての考えを深める終末の工夫

「法やきまりの意義」について考えを深め、主体的に社会に関わろうとする気持ちの芽生えにつながるように、これまでの自分を振り返りながら、改めて「法やきまり」について考えたことを発表し合いました。発表の前に書く活動を取り入れたことで、学んだ道徳的価値に照らし合わせ、自分自身と向き合うことができていました。

### 講義 「道徳科」の授業づくりで大切なことと評価のあり方 國學院大学 澤田 浩一 教授

#### 道徳教育で養うべき基本的資質に関わって

- 楽しい、わくわくする授業を目指したい。それが、中教審答申にある「道徳としての問題を考え続ける姿勢」という資質の育成につながる。
- そのような授業にするためには、教材をよく吟味し、活用方法を工夫することが必要である。教材の読みの深さ、問いの新鮮さが授業を左右する。
- 教材を吟味するには、まず、素直に一読すること。次に、扱われている道徳的価値を把握し、埋め込まれている道徳的価値の構図を明らかにしていく。

#### 道徳科の授業の特質に関わって

- 授業開始時点での児童生徒の道徳的価値についての理解を基に、授業終了時にはより深まった理解に至ることを目指す。教え込みではない。
- 他教科と異なり、理解を深めて道徳性を養うことが目標である。客観的に観念的に理解することではなく、自分の生き方の手がかりとして理解を深めていくということである。
- 内容項目は教師と児童生徒が人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、語り合い、実行に努めるための共通の課題である。

#### 道徳科の評価に関わって

- 「自己を見つめる」とは、主体的に自己内対話を行うこと。評論することや、「自分ならどうするか」と行動を問うことではなく、自分という人間の愚かさ、弱さを見つめることである。
- 「物事を多面的・多角的に考える」ためには、全体での交流を通してより多くの考え方に触れさせることが必要である。授業者は児童生徒の意見をよく聴き、意見の交流がある授業を心がける。TeachよりCatch。
- 生徒が成長しようとする姿や意志をみて、それに力を貸し、後押しするような評価を行いたい。